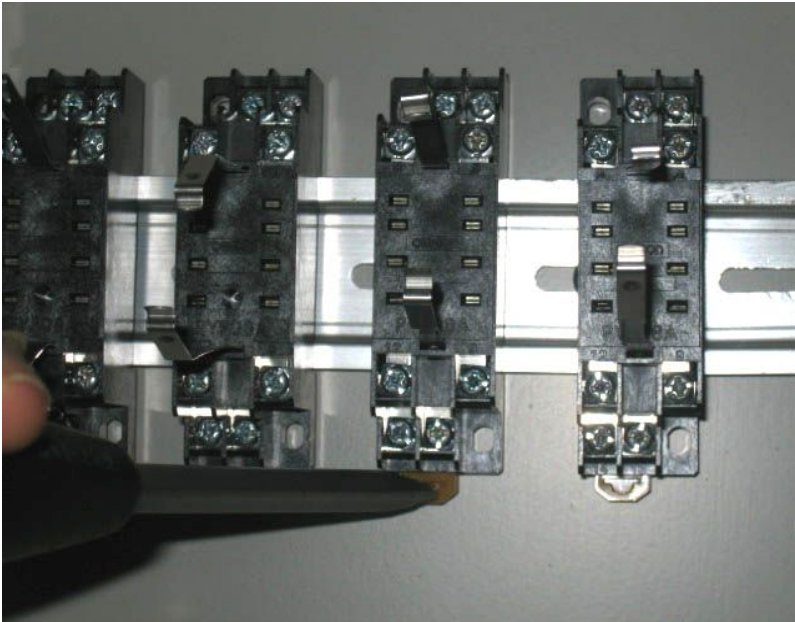


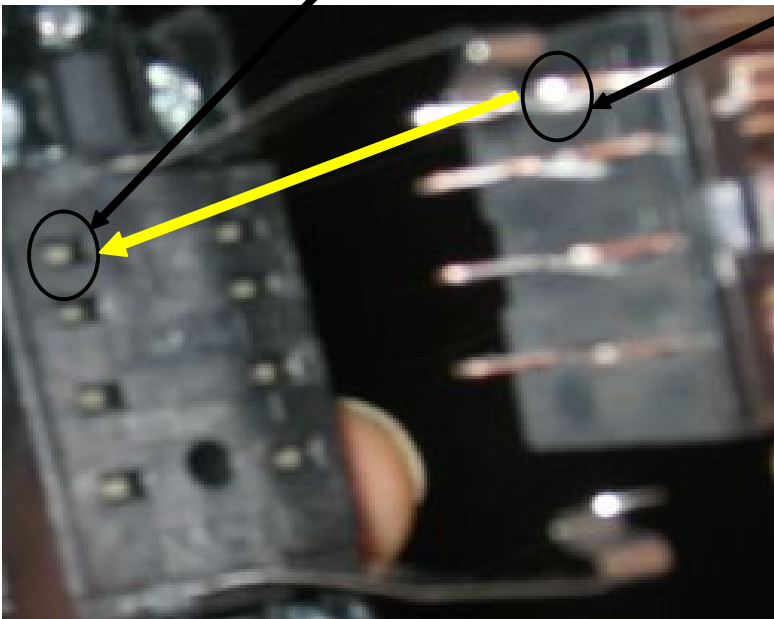
◇ ◆取り付ける場所等が誤った場合の取り外しの方法◆ ◇

- ・ マイナスドライバーを使用し、取り外し金具を下に引き下げると簡単に取りはずす事が可能です。

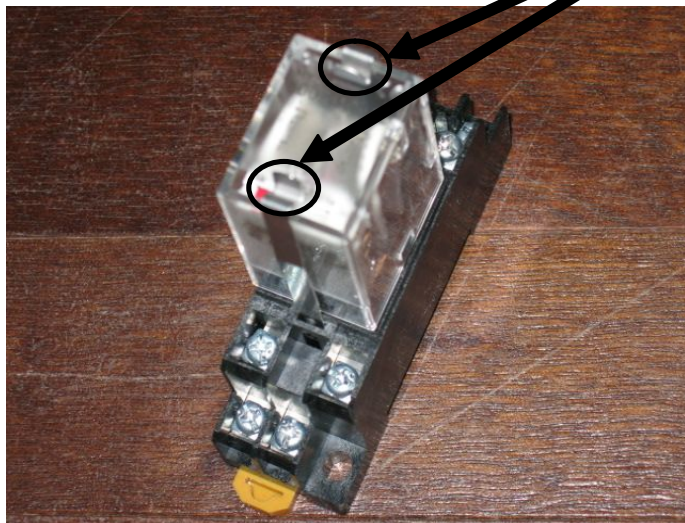


手順 7

DIN レールに取り付いているソケットには、リレー本体 2 個&タイマー本体 2 個を接続するためのメンタ側があり、そこに本体にあるオスピン強く差し込んで下さい。



◆◇リレー、タイマー共に止め金具がしっかり固定されている確認しましょう◇  
※下写真はわかりやすく拡大した写真で実際にはにリレーは DIN レールに取り付いています。



◎『操作扉』『制御 BOX』に全ての電気部品が取付き下写真の様になれば配線の準備完了です。

※操作扉は閉めないで開いた状態で配線していきます。



いよいよ次の **STEP1** から実際に配線をし『自己保持回路』の素晴らしさを現実に体感して頂きたいと思います。ゆっくりでいいので確実に間違いなく配線する事がもっとも大事です。

**落ち着いてトライしていきましょう！！**

## STEP1

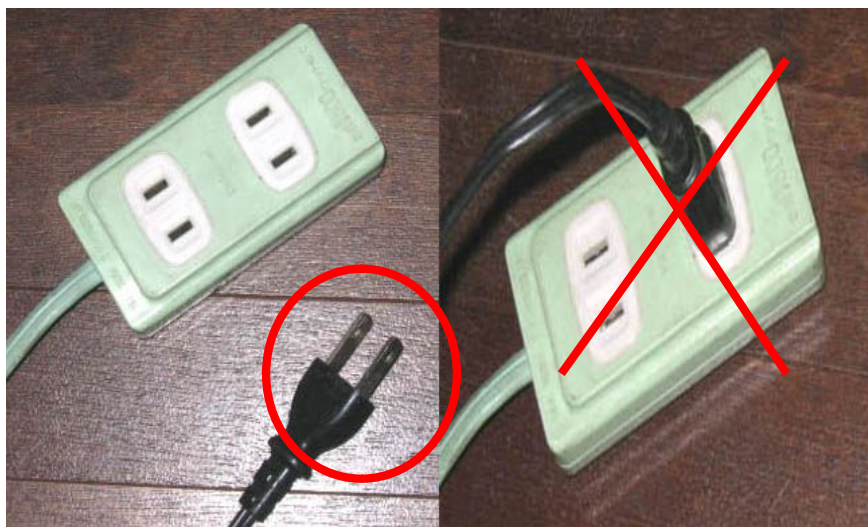
◆基本となる『自己保持回路』を自分で配線し、動作確認をする。

### ◎配線を行う前の注意事項！！

1. ブレーカーの電源が OFF である事を確認する！！



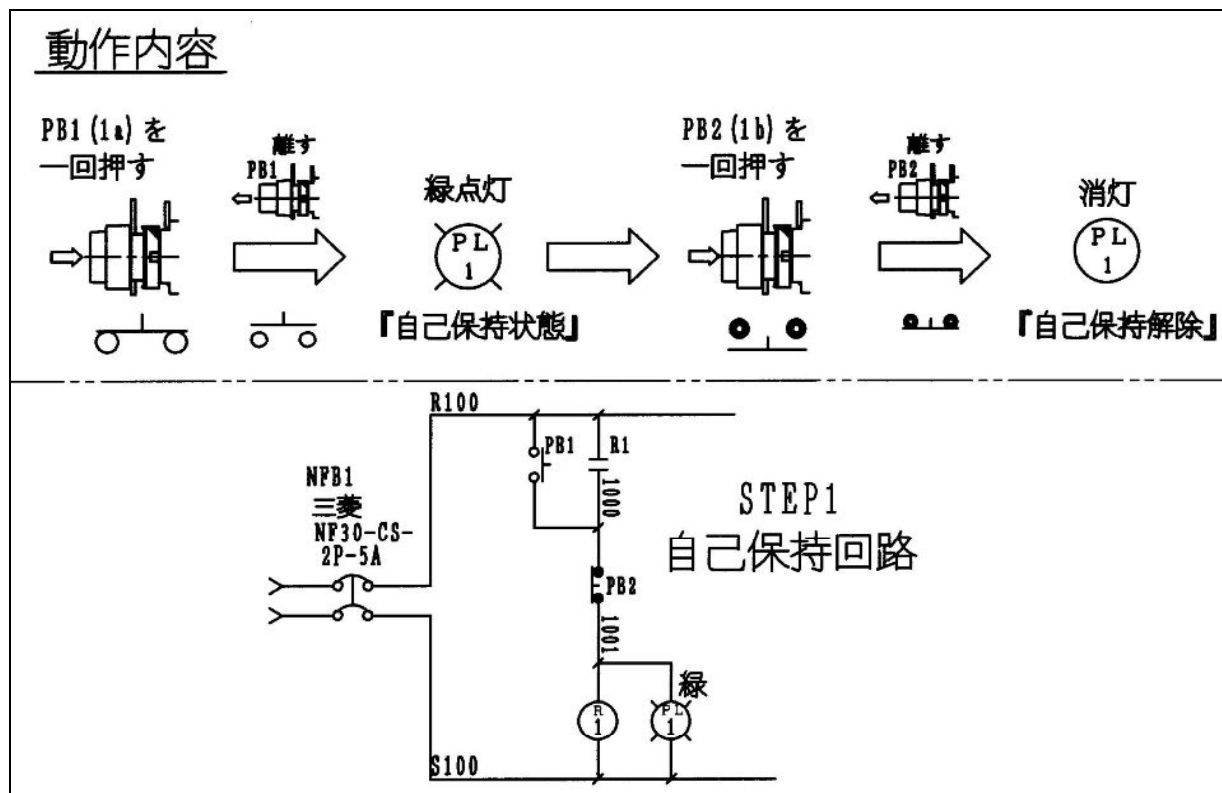
2. コンセントが抜けているか確認する！！



※ 注意事項を無視した配線作業または配線ミスによる、ショート等が生じ人的被害にあわれましても弊社では一切責任を負いかねます。くれぐれも注意し自己責任の元で配線作業を行って頂きます様、よろしくお願い申し上げます。

## ◎『自己保持回路』

～「知識・理論編」で学んだ自動制御の基礎となる回路～

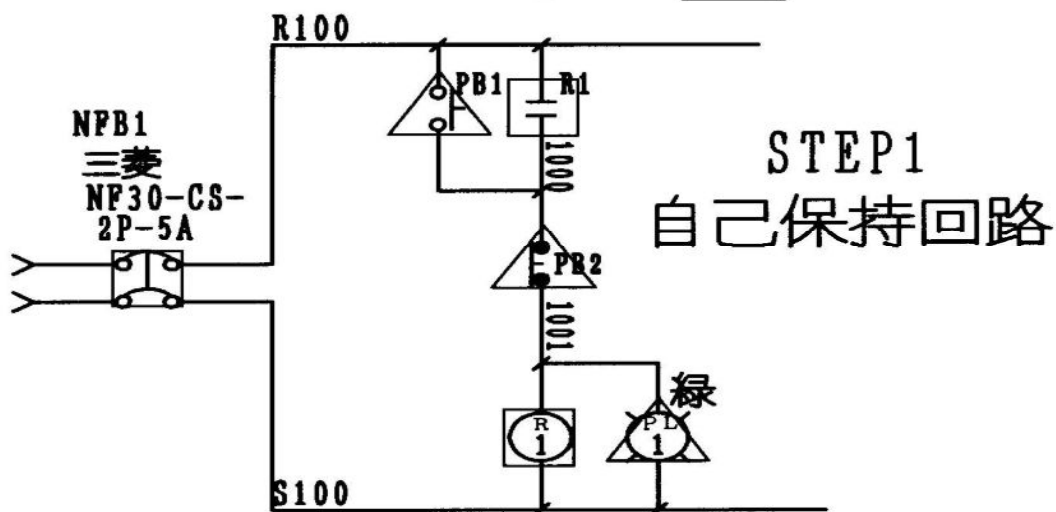


配線手順 1.グループ分け！？

『制御BOX』内、電気部品と『操作扉』上  
電気部品とをグループ分けする！！

※『制御BOX内』⇒ □

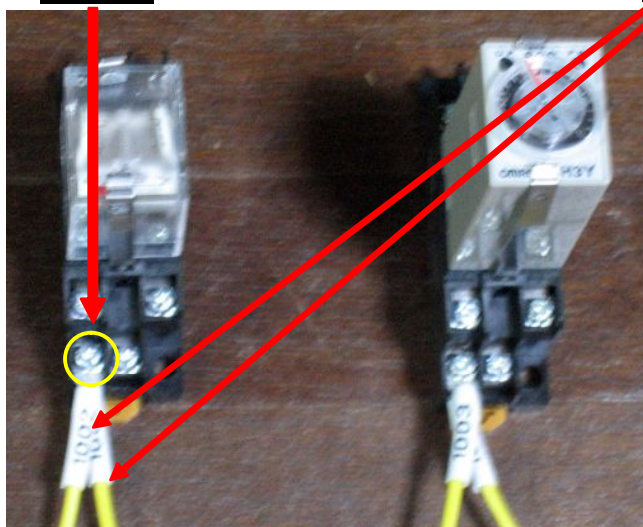
※『操作扉上』⇒ △



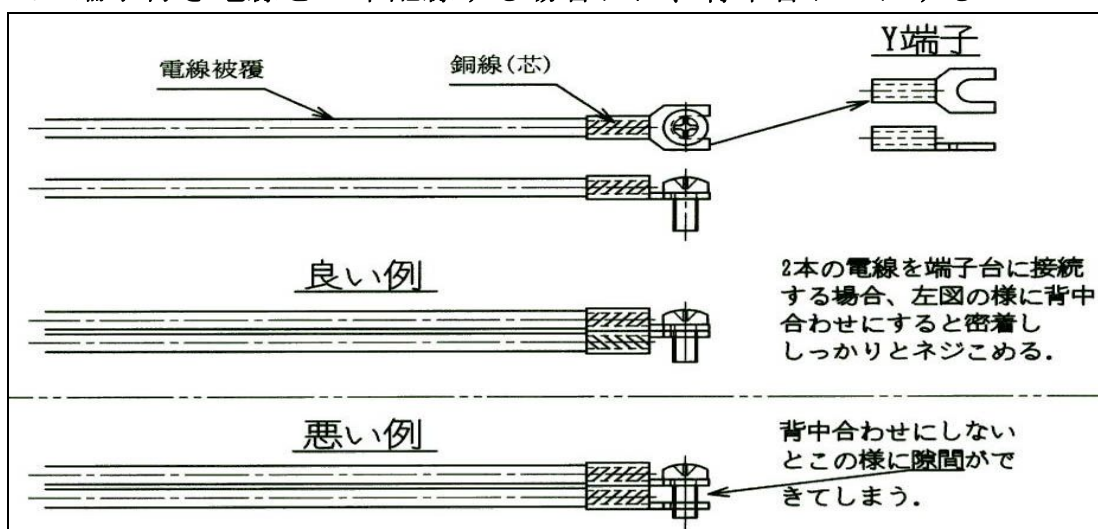


◆◇配線する上での基本的なルール 2 点◆◇

1.端子台 1 つに対して配線できる電線は 2 本まで可能。



2.Y 端子付き電線を 2 本配線する場合には、背中合わせにする！！



◆◇STEP1で使用する電線を用意して下さい◆◇

下図写真の様に「STEP1」と記入された札で束ねられています。ニッパーで切り 1 本 1 本電線を個別に分けて下さい。

